



綿っ子通信



令和8年1月7日発行 第13号



2026年がスタートいたしました。綿打小学校の屋上から見た今年の初日の出からは、かかって雲の狭間から燐々と光り輝く力強さを感じられました。この力強さに負けぬよう、これからも「自分で考える 自分から行動する 仲間と協力する」ことができる綿っ子を、教職員一同、力を合わせて育んでまいります。ご支援、ご協力をお願ひいたします。

3学期 始業式

今年はどうするかは、やはり「考える、行動する、協力する」だね！

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、2026年の干支は何でしょうか。午(うま)年というものは知っている人も多いと思いますが、もう少し正確に言うと今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。そもそも「干支」とは「干(十干)」と「支(十二支)」を表していて、午年は「支(十二支)」だけを表していることになります。だから、



今年の干支は？と聞かれたら、「丙午」と答えるのが正しいようです。この「丙午」という年は、昔から次のような性質をもつ年だと言われています。

- 火のエネルギーが強く、外に向かって燃え上がる年
- 物事が一気に動きやすく、変化や新しい動きが起こりやすい年
- 成功や発展がある一方、争いや事故なども起こりやすい年
- 決断が早く勢いもある反面、冷静さを欠くとトラブルになりやすい年 などなど

特徴的なことは、良いことと悪いことのどちらにもつながってしまいそうな年だと言われていることです。これは、占いみたいなものなので絶対ではありませんが、せっかくだから自分や家族、綿打小学校にとってもよい年であってほしいですよね。では、そのためにどうすればよいのか。

答えは、「自分で考える 自分から行動する 仲間と協力する」ことです。火加減を考えなければ、何もかも燃やし尽くしてしまうかもしれません。変化や新しい動きを起こしたり、それに合わせたりすることは意外に難しいので、仲間や家族と協力しながら行動することも大切です。どうすれば争いや事故が起こらないようにできるかを考えて行動することは誰にでもできます。人の気持ちを考えず、自分勝手な行動ばかりしてしまえばトラブルも起こります。冷静に考えて行動することで、みんなが気持ちよく生活できるようになるはずです。繰り返しますが「自分で考える 自分から行動する 仲間と協力する」ことで、今年がどうなるかが決まってきそうです。

2026年も綿打小学校のみなさんにとって、素晴らしい年になることを期待しています。今日からまた一緒に頑張っていきましょう。



「2026」にまつわる算数雑学

2026の約数（2026を割り切れる正の数）は、1、2、1013、2026 の4つです。

1以外の約数の中に、奇数が1つしかない数は、連続した数の足し算で表す方法が1通りしかないことがわかっています。2026の1以外の約数の中には、奇数は1つ（1013）しかないで、2026は、連続した数の足し算で表す方法が1通りしかない数だということがわかります。（ちなみに奇数は必ず連続した数の足し算で表せます）

$$2026 = 1013 + 1013$$

$$= 506 + 507 + 506 + 507$$

$$= \underline{\underline{505 + 506 + 507 + 508}} \quad \text{ほらね！できたでしょ！}$$

冬休み中に研修しました！

冬休みの時間を活用して、先生方は「いじめ問題対策研修」や「ちょこっと研修」を行いました。「いじめ問題対策研修」では、いじめや不登校に対する意識、対応策について、現状を踏まえて再確認することができました。また「ちょこっと研修」では、先生方の日頃の実践例をもとに、教科の指導法について学び合うことができました。

